



幸前 信雄 議員

「通学路の安全対策の実施内容並びに実施状況」について

問 対策が未実施の対策箇所の実施予定は。

答 警察による対策として挙げられた横断歩道や道路標示の塗り直しの11カ所等は完了しているが、歩行者用信号機の増設3カ所と標識の移設については、要望中。道路管理者による対策の県道5カ所の内、名古屋碧南線の路肩カラー舗装は10月までの完了予定で、残りは完了。市道33カ所は、9月末に工事発注し、2月末に完了予定。都市防災グループに依頼した17カ所は、すべて対策が完了。学校に依頼した4カ所の内2カ所は、先生や保護者・ボランティアの方による立哨で対応し、残り2カ所は、より安全に登校できるように通学路を変更して対応。

問 対策が完了するまでの対処方法は。

答 先生方や保護者の方、交通

指導員の皆様の立哨による対処と何よりも子どもたち自身の安全意識を高めるため、学級活動での安全教育や交通安全協会の皆様に協力いただいた交通安全教室の開催をとおして、交通安全意識の高揚を図っている。

「行政評価システム」について

問 「行政評価システム」の評価結果の反映が2年後となってしまうが、しくみの見直し予定は。

答 現行の「年度評価」の仕組みでは、1年間のブラントクが生じてしまい、事務事業の見直しや改善がタイムリーに行われなといった欠点があり、「四半期評価」「上半期評価」を行う仕組みを取り入れて欠点を補っている。

問 目標が抽象的なので、相対的に判断できる指標への変更は考えているか。

答 「指標」については、公開ヒアリングの場や「外部評価結果報告」でも抽象的で評価しにくいとの意見もだされている。アクションプランの作成にあたり、相対的な指標が設置できるように、作成方法を見直しする努力をしていきたいと考えている。



小野田由紀子 議員

がん教育の強化について

問 文部科学省は、がんに関する保健教育を2014年度から強化する方針を決めたが、今後の取り組みは。

答 高浜市においても、文部科学省の方針に従って、がんに関する知識の普及啓発を進めて行きます。日本対がん協会が発行しているDVD「がんちゃんの冒険」を各学校に配付し、授業に活用していく予定です。

いじめ問題について

問 本市のいじめの実態と今後の取り組みについて。

答 いじめ調査では、小学校で6件、中学校で3件、小学校では減る傾向に、中学校では、スマートフォンや携帯電話を媒介としたいじめやトラブルに発展しかねない傾向にあります。新たな取り組みとして、「いじめ防止の基本方針」の策定、「高

浜市いじめ問題対策連絡協議会」を設置し、いじめ問題から児童生徒を守っていく所存です。

不登校対策について

問 不登校の現状と取り組みについて、今後教師の卵である大学生相談員を活用されては。

答 不登校の現状は、小学生が21人、中学生が65人で出現率は、小学校、中学校とも全国や愛知県よりも高くなっています。今後、教師の卵である大学生相談員の活用も検討してまいりたい。

公共施設のトイレ環境について

問 高浜市中央公民館の和式トイレを洋式化し、二階、三階にも障害者用トイレを設置してはいかがですか。

答 耐用年数の長寿命化による保全を考えると、来年度に向けて、和式トイレを洋式化する準備を進めている。二階、三階への障害者用トイレの設置は、一定のスペースの確保が必要となり、和式トイレの男女各1カ所を洋式化していくことが、限定的な対応であると考えています。